



今月のPick Up
「社外報はじめました」



ひそかに熱いオトコです!

嶋津悟志



Satoshi Shimazu

デザイン制作会社ビー・クスの社外報第1号の表紙を飾るのは、営業チームの若きリーダーとして日々奮闘中の嶋津悟志です。

新卒で入社し今年で8年目。お客様との打ち合わせに飛び回っていたかと思えば、会社に戻って新しいお客様との出会いを求め企画を練ったり、Macを操作自らデザインしたり、写真加工のスペシャリストとして難易度の高い画像の調整を頼まれたり…。ビー・クスでは珍しくさまざまな部署を渡り歩いてきた彼は、今年2年目を迎える「営業」という枠にも自分をはめることなく、何事にも全力投球しています。

いつも鋭いまなざしで、まっすぐ前を見つめる嶋津ですが、朝礼など社員の前で喋ることがあれば必ず「笑い」を取り入れるなどおちゃめな一面も。自然と周りを巻き込み和やかにする、不思議な力を持っています。

ランチは毎日愛妻弁当。5歳、3歳、0歳の3児のパパで、この夏は1週間に2回もキャンプに行ったり、カブトムシを何度も採りに行ったりしたとか。アウトドア派かと思いきや、高校時代には本気でプロを目指したという「ベース」もなかなかの腕前。取引先の方にお説明いただき、年に数回はイベントなどでステージに登場。最近ではベース姿がトレードマークになっています。

夢は、ビー・クスを信州で一番のデザイン会社にすること。「お客様のために何ができるか」という熱い思いと持ち前の行動力で、ビー・クスの未来を切りひらいていきます！

★信濃毎日新聞「Dolsul」11月号(10/18発行)にも登場しています！

contents

広告いろはにはへと

デザインのアンテナ／vividな人々／ズームアップV

今月のPick up

社外報、はじめました。



わたくしども(株)ビー・クスはこれまでお付き合いいただいた多くのお客様のおかげで、来年創業35年を迎えることができます。

ビー・クスについて、みなさまはどんなイメージをお持ちでしょうか。新聞広告の会社?似顔絵名刺の会社?WEB制作の会社?

少し前までビー・クスは「前に出ない」方針であったため、外へ向けての積極的なPR活動をしていませんでした。そのため、自分たちが「社会からどう見られているか」「何を売るか」真剣に見つめ、考えてこなかった反省があります。

社員通用口を入って突き当たりの壁に、弊社社長・古旗文夫が2年ほど前に貼り出した言葉があります。「最も強いものが生き残るのではなく、最も賢いものが生き延びるわけでもない。唯一生き残るのは、変化に対応したものです。」

A4の4Pに詰め込んだ記事を読んでいたいたい時、昨日よりほんの少しでも近くにビー・クスを感じ、何かの可能性を見出していただけたら嬉しいです。末永く、どうぞよろしくお願ひします。

わが社は付加価値を創造し文化を具現化する人間企業である



PRについて考える

PRとは「パブリック・リレーションズ」の略。直訳では「社会の人々との関係」となります。これがビジネスの上では、企業が自社の商品やサービス、事業について「社会の人々に理解してもらう」「信頼関係を築き」「最終的にファンになってもらう」ための、「コミュニケーション活動」とらしきされ、「広報」と訳されることがあります。

業界的に言えば「広告」と「広報」は違います。「伝えたいことのためにお金を出して棒(スペース)を買つ」のが広告、「伝えたいことをメディアに記事として取り上げてもらう」のが広報――という分類があり、アプローチの方法にも違いがあります。大企業では広告と広報を担当する部門は別になつてゐるところが多いですが、中小企業ではあえて別々に考えることは少ないでしょう。世の中に広く告げ知らせることの意味では、どちらも同じ目的的活動です。

上手なPRのためにには、広告と広報が相乗効果を得られるような、バランス良い展開をしていきたいものです。

広告 いろはにほへと

一口に「広告」といつてもその種類はさまざま。自社の商品やサービスを宣伝したい!と思つたときに知つていると役に立つ、広告の種類とその特徴をご紹介します。

【新聞広告】

新聞の紙面に掲載されている広告です。新聞広告を出すことの一番の効果は「読者から高い信頼を得られる」ことです。各新聞社は、読者を惑わせたり不利益をもたらしたりしないように「掲載基準」を定め、表記などに関して厳しい制限を設けています。あらゆる情報を正確・公平に届けるという使命をもつて新聞ならではの信頼感や安心感を、記事だけではなく広告を通して語りかけることができます。

更に、毎日発行の新聞なら商品の発売日やイベントの開催日などに合わせて掲載日を定められるため、鮮度の高い情報を効果的に届けることが可能であります。サイズも小さいものから、1面全体を使つたものまで、内容や予算に合わせて選ぶことができます。



WAZACAN -100日前特集-

実績 新聞広告制作

イベントと連動した広告特集の記事制作・デザイン

2012年10月長野県で開催された「長野技能五輪・アビリンピック2012」。7月12日の信濃毎日新聞に掲載された開催100日前の広告特集では、記事部分をビー・クスで制作させていただきました。大会出場選手と中学生との交流を通じ、競技の紹介や未来を担う若者たちの活気あふれる姿を紙面でご紹介。内容の企画から中学校への取材・撮影立ち会い、記事の執筆、デザインまで、信濃毎日新聞社さんと打ち合わせを重ねながらまとめていき、応援してくださる企業様の広告とともに計4ページの特集が完成しました。大会直前の特集(8ページ)は、10月17日の掲載です。

記事に加え、毎日テレビ面に掲載されている大会のカウントダウン広告や企業様の広告など、ビー・クスでは毎日たくさんの新聞広告を制作させていただいています。今日みんなの目にとまつた新聞広告の中にも、ビー・クス制作のものがあるかも知れません。

vividな日常



クリエイティブ・プロモーション部 web 担当主任
青木祥之

4歳と6歳の娘たちと、妻の誕生日プレゼントを買いに出かけました。帰りの車の中で、上の娘が「ぜーっといい内緒だからね!」と下の娘に言い聞かせていきました。以前、母の日に3人で買物をした際、家に着くなり下の娘が「ママのプレゼント買ってきたよ!」とばらしてしまったのが元で二人はケンカになってしまいました。今回は、下の娘が何度も口を滑らせそうになりながらも、なんとか当日まで話さずにつみました。妻にはバレバレだったようですが(^ _ ^)

妻はプレゼントを気に入ってくれたようで、娘たちも嬉しそう&満足気でした。何をプレゼントしたかは…ヒミツです。

デザインのアンテナ

草花の可憐な美しさに心和らぐ

とやまやすおのはなかん 外山 康雄 野の花館

新潟県南魚沼市にある古民家を移築したギャラリー。趣のある建物の中には、身近な草花を描いた水彩画の数々が展示されています。花びらの微妙な色合いや虫食いの葉っぱー。ありのままの姿を描き出す外山さん作品は、可憐に生きる植物の強さ、美しさを私たちに教えてくれます。野の花館の展示のポイントは、モチーフとなった植物が傍らに添えられているところ。作品、そして実物の草花が見せてくれるさまざまな表情に、心がほっこり温かくなることでしょう。

ビー・クスでは、絵画作品を忠実にデジタル化する「デジタルアーカイブ」事業で、作品保存や他用途への展開のお手伝いをさせていただいている。



外山康雄 野の花館
新潟県南魚沼市万条新田371-1
<http://www.toyama-yasuo.jp/>

39パンダの野望



つづく …のか?

編 集 後 記

第1回の社外報、いかがでしたでしょうか。今月、ビー・クスには2つの「初めて」があります。1つは10月1日にリリースになりました「信州松代まち歩きナビ」です(右の広告をご覧ください)。企画・開発、デザインと、スマートフォン用アプリの立ち上げに初めて携わらせていただきました。それでもう1つは、この社外報です。

「初めて」の挑戦は思わず壁にぶつかることもありましたが、どちらもこうして皆さまのもとにお届けできる形になりました。ほっとしながらも、どんな反応をいただけるかドキドキしております。次回社外報も、どうぞお楽しみに!【関口葉子】



ビー・クスでは「皆が気持ちよく働く職場環境を自分たちの手でつくっていこう!」と、日頃からさまざまな活動を行っています。そんな“ビー・クス色”溢れる取り組みをご紹介します。

「朝礼①」

皆様の会社では、どんな朝礼をされていますか? ビー・クスでは月、水、金の週3回朝礼を行っています。月曜は「人間力を高める朝礼」、水曜は「クリエイティブ力を高める朝礼」、金曜は「感謝力を高める朝礼」。曜日ごとにテーマを設け、趣向を凝らした内容で進行しています。

朝9時、ホールに集まるとまず始まるのが社員同士の「握手会」です。「おはようございます」と笑顔で挨拶をしながら、社員全員と順々に握手を交わせば、その場は一気に和やかムード。元気をあげたり貢ったり、短時間ではありますが、この握手がとつても貴重な「ミニュニケーションの機会になっています。

司会は社員が順番に担当し

朝9時、ホールに集まるとまず始まるのが社員同士の「握手会」です。「おはようございます」と笑顔で挨拶をしながら、社員全員と順々に握手を交わせば、その場は一気に和やかムード。元気をあげたり貢ったり、短時間ではありますが、この握手がとつても貴重な「ミニュニケーションの機会になっています。

司会は社員が順番に担当し

スピーチが終わったら「盛大な拍手」を送るのがビー・クス流。大きな拍手は送る方も送られた方も気持ちが良いもの。真剣に話を聞き、話し手に誠意をこめて拍手をします。

ここまでが、ビー・クス朝礼の基本。これに加え、曜日ごとに「役員スピーチ」「デザイン発表」「ありがとうございます」といったオリジナルコーナーがあり、それらを通して一日の始まりを元気に迎えています。どんなコーナーなのか、詳しくは次回以降をお楽しみに!

スマートフォン用「アプリ」できました。
まち歩きがいつそう便利に、
楽しくなります!

信州
松代
まち歩き
Navi 無料
Free Download

いますぐアプリを手に入れよう! QRコードでダウンロードサイトへ

iPhoneの方
はごちらから▶



Androidの方
はごちらから▶



アプリ紹介Webサイトへ▶

<http://www.nagano-cci.or.jp/app/matsushiro/>